

疫学研究に関する情報公開

福島県立医科大学放射線医学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 27 年 8 月 福島県立医科大学先端臨床研究センター 教授 伊藤 浩

【研究課題名】

イオフルパン検査におけるspecific binding ratioのカットオフ値と線条体集積の左右差、MIBGシンチグラフィのH/M比との関係についての検討

【研究期間】

2015年9月から2017年3月

【研究の意義・目的】

パーキンソン症候群の診断にイオフルパンという製剤を用いた核医学検査が近年保険適用となり、当院では2014年4月から使用開始しています。イオフルパンは脳の線条体という部位へ集まりますが、パーキンソン症候群では線条体への集積が低下します。その集積の程度を定量的に診断する方法としてSBRという定量値があります。SBRとは大まかには線条体領域の集積の程度が全脳および、特定の脳の領域と比較して、何倍程度高いかという値です。正常な方とパーキンソン症候群の方でSBR値にどの程度差があるかは撮影の仕方が施設ごとに全く同一ではないため、その施設ごとに基準となる値は異なります。今回の研究では当施設においてパーキンソン症候群とそうでない方でSBR値の差を検討します。

パーキンソン病の診断には別の核医学検査であるMIBGシンチグラフィがあります。これは心臓の自律神経機能を調べる検査で、縦隔と心臓の集積の比率であるH/M比という定量的な指標を計測することができ、パーキンソン病の診断として使用されています。

イオフルパン検査を受けられた患者さんと同時にMIBG検査を受けられた方がおられた場合にはSBR値とH/M比という2つの指標によりパーキンソン病およびパーキンソン症候群の診断がどの程度正確に行えるかを検討いたします。

【研究の方法】

- (1) 2014年4月～2017年3月の全てのイオフルパン検査を画像読影端末で検索し、SBR値、及びMIBG検査のH/M比を記録します。
- (2) 画像診断読影端末及び電子カルテを参照し、診断名、年齢、性別を記録します。
- (3) パーキンソン症候群の方とそれ以外の方でSBR値を比較し、MIBGシンチグラフィのH/M比との相関も検討します。

【研究組織、研究機関名】

研究責任者	先端臨床研究センター	教授	伊藤 浩
主任研究者	放射線医学講座	助教	石井 士朗
研究分担者	放射線医学講座	助教	宮嶋 正之
〃	放射線医学講座	助手	関野 啓史
〃	先端臨床研究センター	助手	黒岩 大地
〃	放射線医学講座	専攻医	末永 博紀
〃	放射線医学講座	講師	橋本 直人

【人体から採取された試料等の利用について（該当ある場合のみ）】

人体から採取された試料は使用いたしません

【他の機関等への試料等の提供について（該当ある場合のみ）】

他の機関への試料の提供はいたしません

【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、被験者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、利用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続が必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書等の交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

【本研究に関する問合せ先】

- 〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部放射線学講座 担当 石井 士朗
電話：024-547-1334 Fax：024-549-3789 E-mail：shirou@fmu.ac.jp
- 個人情報に関する窓口
〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学総務課大学管理係
電話：024-547-1007 Fax：024-547-1995
- その他のご意見の窓口
〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学研究推進課 研究支援担当
電話：024-547-1825 Fax：024-547-1991 E-mail：rs@fmu.ac.jp